

【補助事業概要の広報資料】

整理番号 26-1
補助事業名 平成26年度 レーザ機器の安全・安心に関する調査研究 補助事業
補助事業者名 一般財団法人光産業技術振興協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

レーザ安全の国際標準化は、ISO規格も含めIEC/TC 76で審議・作成されており、我が国の国内規格であるJISは、IEC規格に沿って制定されている。しかし、現状ではISO規格/IEC規格として発行された全てがJIS化されているわけではなく、国内規格が完全に整備されているとはいえない。そこで本事業により、JIS整備の準備を整え、また、シンポジウムの開催によりレーザ安全の啓発を図る。

(2) 実施内容

平成26年度 レーザ機器の安全・安心に関する調査研究

レーザの安全性の普及・啓発を図るための平成26年度第1回標準化国際シンポジウムを、「レーザ機器の安全・安心－最新のレーザ安全規格－」をテーマに平成26年11月に東京で開催した。

(<http://www.oitda.or.jp/main/one/049/optonews9521.pdf>)

また、レーザの安全性の普及・啓発を図るための平成26年度第1回標準化国際シンポジウムを、「レーザ機器の安全・安心－医用レーザ機器の安全格－」をテーマに平成27年2月に東京で開催した。

(<http://www.oitda.or.jp/main/one/050/optonews9604.pdf>)

さらに、レーザ安全の基本国際規格の解釈票のドラフトの和訳を行い、また、この基本規格の紹介論文の和訳を行った。加えて、レーザ機器の安全性に関する標準化等の国際動向の調査を行うため、平成27年3月に、IEC/TC 76/WG 1&WG 8及びILSC2015に参加した。

2 予想される事業実施効果

平成26年度第1回標準化国際シンポジウムでは、日本及び国際の最新のレーザ安全基本規格の解説する講演がなされたので、シンポジウムへの参加者が、今回の規格改正の要点を理解するのに役立ち、今後、安全・安心への取り組みを強化していくのに寄与したと考えられ、また、平成26年度第2回標準化国際シンポジウムでは、医用レーザ安全規格の最新の動向について紹介する講演がなされたので、①人体へのレーザ応用と基本原理、②医用レーザ分野の技術・応用・法規・市場の最新動向、③プ

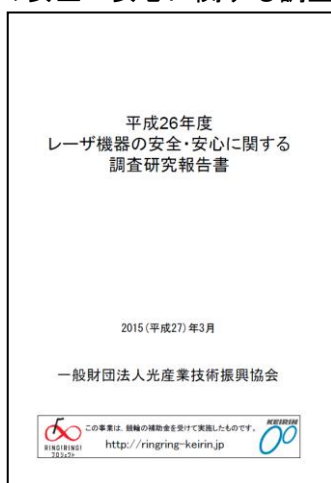
口用・家庭用各応用に対する医用レーザーの安全規格について聴講者が理解を深めるのに役立ち、医用レーザーにおける安全・安心にとって標準化の取り組みがいかに重要であるかを再認識するのに寄与があったと考えられる。いずれの講演も参加者の好評を博し、レーザー安全性の普及・啓発に大いに効果があったと思われる。

翻訳したレーザー安全基本規格の解釈票は、今後のJIS化の検討において基礎的資料として大いに活用が期待される。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

平成26年度レーザー機器の安全・安心に関する調査研究報告書



(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名：一般財団法人光産業技術振興協会

(ヒカリサンギョウギジュツシンコウキョウカイ)

住所：〒112-0014

東京都文京区関口1-20-10 住友江戸川橋駅前ビル7階

代表者：理事長 矢野 薫 (ヤノ カオル)

担当部署：開発部 標準化室 (カイハツブ ヒョウジュンカシツ)

担当者名：標準化室長 村田 健治 (ムラタ ケンジ)

電話番号：03-5225-6431

FAX：03-5225-6435

E-mail：opt-st@oitda.or.jp

URL：http://www.oitda.or.jp/